

# 施策運営目標に対する行政評価について



平成 24 年度施策運営目標に対する行政評価について

平成 25 年 4 月  
関西広域連合

平成24年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット	自己評価/今後の対応等
広域防災	世界の防災・減災モデル“関西”の推進	(1) 関西防災・減災プランの策定及びフォローアップ	B 未着手の部分については25年度に実施
		(2) 災害時の広域応援・受援体制の強化	A
		(3) 広域災害に対する体制の強化を図るため、関西が一体となった訓練の実施	A
		(4) 物資集積・配送マニュアルの作成	A
		(5) 防災研究・研修機関等の実施する研修に構成団体の職員が参加する等、計画的な人材育成を行う	A
		(6) 関西における広域防災に関する諸課題の解決に向け、調査研究を行う	A
広域観光・文化振興	関西への訪問外国人客数について年間1,000万人を目指す	(1) KANSAIブランドの構築等	A
		(2) 基盤等の整備	A
広域観光・文化振興分野 (山陰海岸ジオパーク推進)	山陰海岸ジオパークの魅力を活用した広域観光振興	(1) ジオパークを含む関西の観光資源をテーマやストーリーで面的に結び、海外プロモーション等でその魅力を発信するほか、国際会議の誘致活動等を実施する。	A
		(2) 観光ルートマップの作成や広域スタンプラリーの実施、観光列車の運行など、広域観光を促進するための取り組みを実施する。	A
広域産業振興分野	関西広域産業ビジョン2011の推進	(1) 関西広域産業ビジョン2011に基づく事業化の評価・検証や事業の進捗管理、国内外へのビジョンの広報推進	A
		(2) 関西の優れた大学等研究機関、企業、支援機関等が集積した産業クラスターの連携や、科学技術基盤の活用促進	A
		(3) 国内外での合同プロモーションやビジネスマッチング、公設試験研究機関の連携推進	A
		(4) 「関西ブランド」のプロモーションや新商品調達認定制度によるベンチャー支援の実施	B 新規認定は行わなかったものの既認定分の広報を効果的に実施。25年度において新規認定を実施予定。
		(5) 高度産業人材の育成・確保に向けた検討の実施	A
広域医療分野	「関西広域救急医療連携計画」の推進	(1) 計画の適切な進行管理を行う第三者機関の設置	A 来年度も、2回程度、委員会を開催し、計画の着実な推進に取り組む
		(2) 新たな連携課題の検討	A 専門部会において、更なる検討を行い、連携体制の検討、構築及び運用開始に取り組む
	ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実	(1) 広域的ドクターヘリの運航体制の構築	A 基地病院と協議・調整を行い、ドクヘリ搭乗医師・看護師養成プログラムの作成に取り組む
		(2) 重複要請時における相互応援体制の構築	A 引き続き関西全体の相互応援体制の構築に取り組む
	災害時における広域医療体制の整備・充実	(1) 災害時における医療連携マニュアルの策定	A 広域防災局と連携し、状況に応じて随時見直す
		(2) 災害時における医療提供体制の整備・充実	B 各府県における災害時医療調整チームの整備促進を図るとともに、リーダー人材の育成に向けた合同研修を実施する
広域環境保全	「関西広域環境保全計画」の推進	(1) 有識者等による点検・評価	A
		(2) 新たな取組の展開に向けた施策検討	A
	温室効果ガス削減のための広域取組	(1)-1 試行事業の検証・評価をもとにしたエコポイント事業の制度設計および自立的展開	B (1)-1 事業の自立に向けて参加企業の増加を図る (1)-2 環境省採択事業の構成団体等による協働取組により、広域活用に向けた調査検討を進める
		(1)-2 クレジットの広域活用に向けた調査検討	B (2)-1・2引き続き、充電マップと写真コンテストの情報等を利用して、広域観光モデルルートを検討していく (2)-3引き続き、情報交換を実施し、取り組みを進める
		(2)-1 充電マップの情報更新	
		(2)-2 電気自動車を活用した広域観光モデルルートの提案および観光統一キャンペーンの実施	
(2)-3 共通化した充電インフラの通信・認証機能等の導入に努めるとともに、事業者等への推奨			

## 平成24年度各分野事務局等施策運営目標の期末評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット	自己評価/今後の対応等
広域環境保全		(3)-1 統一キャンペーンの企画・調整・実施	A
		(3)-2 住民・事業者が主体となって取り組む新たな温室効果ガス削減対策の検討	
	府県を越えた鳥獣保護管理の取組	(1)-1 関西地域カワウ生息動向調査の実施 (1)-2 被害状況の現地確認、被害防除事例の調査研究 (2) 生息動向調査の結果等を踏まえたカワウ広域保護管理計画の策定および平成25年度以降の取り組み体制の検討	A A
資格試験・免許等	平成25年度からの試験・免許事務の円滑な実施	(1) 規程整備・試験問題作成	A
		(2) 資格試験・免許統合システムの構築	A
広域職員研修	広域職員研修の実施	(1) 政策形成能力研修の実施	A
		(2) 各団体が主催する研修への相互受講参加	A
		(3) WEBを活用した研修の試行実施	A
国出先機関対策	国出先機関の原則廃止(「丸ごと」移管の実現)	(1) 国・構成団体との調整・協議等	B
		(2) シンポジウム・説明会等の開催	B
広域インフラ検討	広域交通インフラの機能強化	(1) (企画部会)	B
		(2) (北陸新幹線検討部会)	B
新エネルギー対策	関西における中長期的なエネルギー政策の検討	(1) エネルギー検討会の運営	B
		(2) 自然エネルギー協議会への参画	A
首都機能バックアップ	関西を首都機能バックアップエリアとして位置づけ	(1) 首都機能バックアップに係る調査の実施	B
		(2) 関係団体との勉強会・意見交換会等の開催	A

**(評価について)**

本年5月に各事業分野にて策定した施策運営目標に対して年度末の目標達成状況として、次の基準により自己評価を行い、監査委員の意見を聴く。

**【評価と基準】**

- A 達成(掲載目標(取組・指針)を達成)
- B 部分達成(掲載目標(取組・指針)のうち一部達成)
- C 取組中[取組維持](他律的な要素により期間内での目標達成には至らず、目標の実現に向けた取組を継続)
- D 未達成(掲載の目標(取組・指針)が未達成)

## 平成24年度施策運営目標評価結果に対する監査委員からの主な意見

各分野事務局等で行った自己評価に対して2名の監査委員（北島委員及び澤田委員）より意見を聴取した。主な意見は次のとおり。

### ◆ 広域防災分野

- ・目標達成に満足せず、都度各種の防災計画を精査し実践していくことが重要である。

### ◆ 広域観光・文化振興分野

- ・観光地を「点」でとらえることなく、「線」でつなぐことができるような取組が必要である。
- ・広域連合の強みを生かした観光振興に努めることが重要である。
- ・海外だけでなく国内へも関西を理解してもらうよう努めることが重要である。

### ◆ 広域医療分野

- ・ドクターヘリの安全運航に配慮した環境作りにも努めること。

### ◆ 総括

- ・人事異動によって事業に支障が生じないように努めること。
- ・評価に当たっては、事業全体から見て今年の進捗を評価できるような仕組みが必要である。
- ・目標の設定に当たっては、目標の達成状況が明確に理解できるような目標の設定に努めること。